



2026年度『マッセ・市民セミナー』河北ブロック研修

インクルーシブな保育をめざして ～「気になる子」をめぐる見方を問い直す～

クラスの中で『気になる子』と言われる子どもが増えている中で、日々の保育をどのように進めていけば良いのかと戸惑う声が聞かれます。

気になる姿を課題として、「何とか集団に」という意識をもつと、気になる子の姿は否定的な捉え方となりがちで「うまくいかない」といった評価にもなってしまいます。子どもたちが共に育ちあうために、個の課題は意識しながら、子ども同士の関係性や相互作用に着目し、誰が困っているのかを明らかにしていかなければなりません。

保育者自身、自分の保育を見つめ直し、振り返ることを通して、保育者自身の子ども観を見直すきっかけになるのではないのでしょうか。

子どもの最善の利益や意見表明権が日常の保育実践の中でどのように具体化されているのか。また、集団の中で互いに知り合い、すべての子どもが安心して過ごし、集団としてのつながりを深めていくプロセスは大切にされているのかなどを感じながら、共に育ち合う保育をめざしましょう。



■プロフィール：

大阪青山大学子ども教育学部子ども教育学科・講師。専門は保育学。

主な研究テーマは、「インクルーシブ保育における仲間関係の形成過程と保育者の援助」であり、子ども同士の関係性や相互作用に着目しながら、すべての子どもが安心して共に育ち合う保育の在り方を探究している。

加えて、日本および北欧諸国（スウェーデン・フィンランド等）を対象に、インクルーシブ保育と子どもの権利に関する国際比較研究にも取り組み、文化的・制度的背景の違いを踏まえながら、子どもの最善の利益や意見表明権が日常の保育実践の中でどのように具体化されているかを明らかにしている。

教育現場では、保育者や学生と協働し、子どもの権利を基盤とした実践の創造と環境づくりの推進に取り組むとともに、国内外の知見を架橋しながら、より包摂的な保育の実現に向けた実践的提案を検討している。

■主な著書（編著）：

柏まり・小林みどり編著『新・保育と人間関係 - 理論と実践をつなぐために』嵯峨野書院＜執筆箇所＞第1章 幼児教育・保育の基本と領域「人間関係」



■ 講師 徳留 由貴(とくどめ ゆき) 氏
(大阪青山大学子ども教育学部子ども教育学科講師)

■ 日時：10月22日(木)

第1部 14:00～14:30
大阪府福祉部による
情報提供(各ブロック共通)

第2部 14:30～16:30
マッセ・市民セミナー
(ブロック研修)

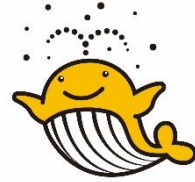
■ 会場：四條畷市立市民総合体育館
サン・アリーナ 25 3階 多目的室

■ 募集人数：30名（参加費：無料）



＜申込＞各市町村研修担当者を通じてお申し込みください

河北ブロック合同研修
申込締切（10月1日）



2026年10月22日（木）
インクルーシブな保育をめざして
～「気になる子」をめぐる見方を問い直す～

会 場	四條畷市立市民総合体育館 サン・アリーナ25 3階 多目的室
〒575-0052 四條畷市西中野1丁目3番6号	



- ① 京阪電鉄「大和田駅」下車、京阪バス「四條畷駅」または「清滝団地」行「国道中野」下車徒歩5分
- ② JR学研都市線「四條畷駅」下車、京阪バス「大和田」行「国道中野」下車徒歩5分